

Digest of Science of Labour

労働の科学

2024
August
Vol. 79, No. 8



手の復権 / 菅沼 緑

特集

労研を支えた人たちの群像(その3)

「聞き書き」から労研の歴史を紐解く
遠藤幸男 / 増田富江 / 暁峻衆三

巻頭言

よい予防事例が横に広がる効果
小木和孝

連載

タイプライターの歴史とタイプスト⑧
三宅章介

凡夫の安全衛生論議③
福成雄三

労研アーカイブを読む⑫
椎名和仁

ILOインド南アジア産業安全保健通信②⑩
川上 剛

歌舞伎で生きる人たち その二十五
湯浅晶子

労働の科学



巻頭言

俯瞰 (ふかん)

よい予防事例が横に広がる効果

小木 和孝 [大原記念労働科学研究所 主管研究員]

1

表紙作品：菅沼 緑「手の復権」

材料：木材

会場：神奈川県立近代美術館（神奈川・鎌倉）

年度：1996年

撮影：菅沼 緑

表紙デザイン：大西文子



労研を支えた人たちの群像 (その3)

私と労研

「労働科学」の真理は永遠なり

[元副所長、元総務部長] 遠藤 幸男 4

忘れられない人たち

[元研究員 (栄養学)] 増田 富江 8

つれづれなるままに

[農業経済学者] 暉峻 衆三 15

Series

ILOインド南アジア産業安全保健通信 (20)

インド、ラージャスタン州の採石場 川上 剛 25

「#教師のバトン」で伝わる (35)

教職員の過酷な勤務環境 藤川 伸治 28

Series

- タイプライターの歴史とタイピスト (8)
 —科学的管理法がもたらしたものとホーソン実験の影響—
 三宅 章介 31

Column

- 労研アーカイブを読む (102)
 労働科学へのメッセージ2 椎名 和仁 41
- 自由と想像 (20)
 手の復権 菅沼 緑 47
- 凡夫の安全衛生論議 [疑問と思い込み]
 「巡視」について考える (3/3) ～巡視を活かす～ 福成 雄三 48
- KABUKI
 双蝶々曲輪日記～引窓
 歌舞伎で生きる人たち その廿五——水到渠成 湯浅 晶子 50
- BOOKS
 『ロックフェラー家と日本 日米交流をつむいだ人々』
 文化交流は人に始まり、人に終わる 椎名 和仁 53
- 労働科学のページ 54
- ろうけん川柳 63
- 次号予定・編集雑記 64



俯瞰 ふかん

よい予防事例が横に広がる効果

小木 和孝

多くの職場で安全で健康に働くために、日々協力し合う努力が多彩に積み重ねられている。その成果は整備された職場環境や円滑な作業の流れ、効果的なりスク対策など、目に見える形で共有されていく。注目されるのは、そうした良い実践例を写真や事例報告で分かりやすく示すことにより、職場ごとの現場条件に合わせた改善への取り組みに役立つ点である。

こうした良い事例写真は、多くの業種で参加型の職場環境改善活動が普及していくさいに、大いに役立つ。同種職場の良い事例を参考にすると、職場内でよく行われる短時間の検討会などで、自職場で行いたい改善策が提案しやすくなる。私たちの経験でも、1時間ほどの検討会で、小グループに分かれて自職場の良い点と改善点をまとめるさいに良好事例写真をいくつも見ておくと、その職場ですぐ行う改善策に合意しやすくなる

ことが知られている。こうした改善事例とともにすぐ提案できそうな改善策のリストを提供すると、職場ごとにすぐ行う改善策がまとまりやすくなる。この事例写真と提案用アクションリストの併用はどの業種でも行いやすい手順になって普及している。中小事業場や自治体組織の多くの職場で行った経験では、良好事例写真と提案用リストを併用すると、比較的容易に同じ業種の

他職場に、いわば「横に」伝わって応用されていきやすいことが知られている。

こうした経験から、私たちが行っている参加型改善の研修では、改善事例写真を示しながら提案用チェックリストを使っている。横に広まりやすいことを伝えるようにしている。こうした場合に、参加職場ごとに提案用チェックリスト配布と検討会の開催を支援する推進担当者を決めておくと、この横に広がる効果が得やすくなることも知られてきた。似た職場における改善事例をもとにしているの

で、分かりやすく、横に広まりやすいことを実感している。職場ごとにすぐに改善したい事項は当然にさまざまであるが、中小企業の多数の職場や同じ業種内の多くの現場で行われる改善策を集計してみると、それぞれほぼ同じように仕事しやすさ・作業環境・チームワークなどに広く分布していることが確かめられている。個々の職場ですぐ取り組むと合意するのは少数の改善策ではあるが、どこを改善しようかと職場内で対話するときに取り上げる改善策の範囲を広く視野に入れていくことが、このことから確かめられる。

もう一つ改善策の分布から分かる大事な点は、職場の連携、作業予定、助け合いやすさが必要な対策の内容など、職場内コミュニケーションについての改善策がだんだん多く取り上げられるようになった



こぎ かずたか
大原記念労働科学研究所 主管研究員

ている事実である。

こうした傾向を反映して、コミュニケーション関連の改善アクションが事例としてもチェックリスト項目としても多く含まれるようになってきている。どの業種でも情報のやり取りがさらに重視されるようになってきた現状を反映している。

参加型改善を話し合う職場検討会などでは、同じ職場の人たちと現状を一步前へ進めようとする対話が行われる。すぐ対処する改善策を目標にする姿勢を一緒にとる点が近未来志向となり、別の職場の良い経験からも触発されて「横に」広まる効果に結びつくことになる。すぐできる作業しやすさや職場内コミュニケーションに力点を置くなどダイナミックな対話が介在することが、同じような状況にある横への広がりを支えたい。そうした職場ごとの労使対話による広域改善活動が多くの職場に横に広まっていくことに期待したい。